

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第3回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和元年7月23日(火) 19時00分~21時				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	17人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) まちづくり懇談会について (3) 今年度の中央地区まちづくり会議で取り組むテーマについて (4) その他 3 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〃 は委員の発言、 〃 は申請団体の発言、 〃 は事務局の発言)

1 開 会

牛尾会長あいさつ

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

地域活性化事業交付金申請事業に関するまちづくり会議での意見聴取について、事務局から資料に沿って議論の視点等を説明の後、令和元年度申請事業である 1 事業の事業説明を申請団体から行い、質疑応答を行った。

「第 18 回もみの木コンサート」 / もみの木コンサート実行委員会

主な意見・質疑

○出演した小・中・高の学生たちが出演して良かったと感じていることをより積極的に周知していくということが継続性を考える上で必要な部分なのではないか。たとえば、出演した学生たちに感想文などを出してもらうなどもいいのではないかと。また、補助金と協賛金のバランスを今一度検討してみる必要もある。

出演した学生たちからアンケートは取っているが、実行委員会内部でしか閲覧していない。本事業のPRも含めて広報の仕方を今後も考えていかなければならない。

○収入の目安みたいなものがないと、果たしてこの事業は継続できるのかと疑問を感じた。交付金が 100% 交付されれば実施できる事業なのか、協賛金はいくら入るのかなど、この資料だけでは判断がつかない。また、参加人数が見えない。食糧費についても出演者の食糧費はあるのかが分からない。

昨年度実績として参加者含めて延べ人数で 1300 人程集まった。また、収入面に関しては昨年度の繰越金があり、本事業については繰越金を上手く使ってある程度ゆとりを持って実施をしていきたいと考えている。食糧費については、学生たちにもお手伝いをしてもらった時のための飲み物代として計上している。

結果

本事業は地域活性化事業交付金の申請事業としては 9 年目の事業となるが、過去の実績から見ても地域の世代間交流に資する事業であり、申請内容のとおり事業を推進することで中央地区まちづくり会議では了承された。

第 2 回中央地区まちづくり会議にて議題に挙がった「第 5 回 子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」についての補足意見が以下のとおり委員からあった。

○前回中央地区まちづくり会議の「第5回 子どもと大人 共に学ぶ宇宙教室」の説明の際に申請団体の委員から、地域活性化事業交付金については地区ごとに配分された予算であるから、地区外の人に参加することは趣旨が違うとの発言があったが、私が調べたところ、地区を跨いで協同して事業を実施しているところもあるし、地区外の利用者も受け入れている事例もある。つまり、自分たちの地区内に居住していないことを理由として地区外の人を受け入れないということにはならないと思う。このため、もし本事業について、他の地区からも参加をしたいと考えている人がいるならば、余裕があれば是非受け入れていただきたい。

すでに今年度の事業について、中央地区以外で4つの地区からの参加応募者がいる。中央地区まちづくり会議で了解を得られれば是非受け入れていきたい。

(2) まちづくり懇談会について

事務局から今年度のまちづくり懇談会の概要についておさらいした後、資料に沿って各委員から提出されたテーマ案について説明し、議題調整の議論に移った。

○委員の皆様への質問になりますが、まちづくり懇談会について、市に対して一つでもテーマを絞って要望を投げかけ実現に向かわせようとしているのか、それとも、議論が発散してしまっても多くのテーマについて懇談をしようとしているのか、どちらを求めているのか。

○具体的な改善に一步でも二歩でも進めることを望んでいる。そのためには、具体的な要望を示さなくてはならないかもしれない。

○学校問題について、保護者から見ると富士見小学校と中央小学校の差は大きいものがあると感じている。また、遊べる場所等が多いというのは住みやすいと思える非常に大きな要素である。

○今の世代の人たちは何かやらなくてはいけないと感じている人たちは多い。自治会で活動したことが目に見えて実現されていけば、若い人たちも自治会に入ろうとするのではないかと感じている。また、最近では子供に関連した事件も多く、子供に対する取り組みについてはシビアになっていることから、そこに焦点を当てて活動をしていけば結果的に自治会加入率の低下にも対応できるものだと思う。

○人と人とを繋げるものは子どもだと思う。地域も子どものためならと動く人は多いと実感するので、子どもの関係をテーマとして取り組みたい。放課後こども教室については現在、各区に数か所ほどモデル事業として実施していると伺っているが、今後、市がこの事業を広く展開をしていくことを検討しているのかどうかも聞いてみたい。この事業については利用する子どもに対して、子どもを支援する人員の不足が懸念されるところだが、地域内でも現役引退後の高齢者など活用できる人材はいる訳であり、子どもと地域との交流という観点も含めて、もう少し地域と協働して出来ることはないか懇談したい。

○大災害があった場合に地域で活躍してくれるのは高校生や中学生の若者である。学校も忙しく手が回らないのは承知の上だが、学校と連携して、地域と学生間で防災力を高めていく取り組みをしていきたい。

○児童相談所に行ったことがあるが、あまり良い雰囲気ではない。そのため、地域内で同所を必要とする子どもがいても中々相談に行けない状況があると感じる。このことから地域で子どもを見守ろうとする仕組み作りが必要だと感じる。

結果

テーマについては「子どもの教育環境の問題」にすることで決定した。具体的なテーマ内容については、目の前の問題と今後取り組むべき問題とを分けて考え、本日の会議で主に意見を出した委員から8月15日 木 を期限としてテーマシートを作成いただき事務局まで提出することとなった。

(3) 今年度の中央地区まちづくり会議で取り組むテーマについて

「公園問題」、「交通事故問題」、「自治会加入率低下問題」の3つのプロジェクトチームごとに分かれ、それぞれの課題解決にあたって調査・整理すべき事項について議論をし、結果をワークシートにまとめた。次回の第4回まちづくり会議にて調査結果等について各プロジェクトチームごとに報告することとなった。

(2) その他

- ・佐藤委員から富士見小学校サマークリーンデーの実施通知について説明し、参加依頼を行った。

4 閉 会

以 上

第3回中央地区まちづくり会議(7月23日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	高橋 征彦		中央地区自治会連合会	欠席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	田坂 正子		中央地区自治会連合会	欠席
5	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
6	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
7	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	出席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	守屋 守		交通安全協会	出席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	欠席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	欠席
20	代田 昭		公募委員	出席
21	秋葉 秀二		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	欠席
23	木口 榮		公募委員	欠席
24	鳥海 千秋		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席